

NEW ACOUSTIC CAMP 2018



山と音の遊び方

2018.9.15 (sat) - 16 (sun)

水上高原リゾート200

<http://newacousticcamp.com>



CHECK!

VOL. **2**

THIS IS
NACMAN



NEW ACOUSTIC CAMP HOW TO FUN!

山のなかで音楽を、とことん楽しめる
ニューアコースティックキャンプ (NAC)。

2017年の様子をオフィシャルキャラクター「NACMAN」がレポート!



TIPS FOR CAMPING
のんびりできる
キャンプサイトの
ヒント&マナー

P4

TIPS FOR WEARING
晴れでも雨でも!
快適に過ごせる
ウェアのヒント

P10

INTERVIEW
ふたりのプロに
インタビュー!

P12, P16

**NAC最高地点、
天国に近い穴場の
ステージが
あるらしい……?**

P14

Jeep Official Site jeep-japan.com

Jeep Renegade

小さなボディに、Jeep 本来の圧倒的な走破性が息づくスモールSUV。



※写真掲載車両

Trailhawk

ボディカラー: アルバインホワイト C/C

3,500,000円



卓越したオフロード性能が
実証されたモデルにのみ与えられる
TRAIL RATED バッジ

Limited

3,220,000円



Longitude

2,990,000円

□ 右ハンドル □ (全長) 4,255mm [Trailhawk: 4,260mm] × (全幅) 1,805mm × (全高) 1,695mm [Trailhawk: 1,725mm] □ 乗車定員: 5名 □ 直列4気筒 マルチ
エア 16バルブ インタークーラー付ターボ [Trailhawk: 直列4気筒 マルチエア 16バルブ] □ 総排気量: 1,368cc [Trailhawk: 2,359cc] □ 最高出力 (kW/rpm): 103
(140ps)/5,000 (ECE) [Trailhawk: 129 (175ps)/6,400 (ECE)] □ 最大トルク (N・m/rpm): 230 (23.5kg・m)/1,750 (ECE) [Trailhawk: 230 (23.5kg・m)
/3,900 (ECE)] □ 前2輪駆動 [Trailhawk: 4輪駆動 (オンデマンド方式)] □ 6速乾式デュアルクラッチAT [Trailhawk: 電子制御式9速AT] □ 無鉛プレミアム
ガソリン [Trailhawk: 無鉛レギュラーガソリン] □ 燃料消費率 * JC08モード: Longitude 15.5km/ℓ, Limited 14.6km/ℓ, Trailhawk 10.4km/ℓ

* 燃料消費率は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。記載の燃費値は国土交通省審査値です。

※価格は、2018年5月現在の全国メーカー希望小売価格 (含消費税) です。※掲載の全国メーカー希望小売価格は参考価格です。
販売価格はショールーム正統ディーラーが独自に設定していますので、各店にお問い合わせください。※税金 (消費税を除く)、登録諸費用、
保険料等は含まれておりません。※価格には、リサイクル料金は含まれておりません。別途必要となります。※価格には、オプション
費用は含まれておりません。※写真およびイラストは、実車とは異なる場合がございます。※価格・諸元・仕様ならびに装備は予告なく
変更する場合がございますので、予めご了承ください。※Jeep®は、FCA US LLCの登録商標です。総輸入元: FCAジャパン株式会社
お問い合わせ: Jeep® FreeCall 0120-712-812

Jeep®



もし斜面しか
残ってなかったら……

斜面にテントを張った場合よくある「マットと寝袋がずり落ちる」問題。100円ショップなどで売っている、滑り止めシートをマットの下に敷くべし。快適な眠りを約束します。



雨天を考慮して
場所を選ぼう

アップダウンが激しいサイトにテントを張る場合は、雨天に注意。大雨が降ると水がたまったり、斜面だと水が流れ込んだりします。地形を読むのも、NACの楽しみのひとつ！



スペースは譲り合おう

広い会場とはいえ、限りがあります。みなさんが気持ちよく過ごせるように、できるだけ場所を譲り合って、テントやタープを張ってください。NACMANからのお願いです。



のんびり
張ろうよ！

買い食いも
できますよ



荷物を運び終えたら、まずは乾杯といきましょう！のんびり譲り合ってテントやタープを張りましょう。おながすいたら、おいしいスナックやスイーツも売ってますよ！

夜を楽しもう！



でも、ある程度
静かにね

テントをライトアップしたり、お酒や焚き火など、それぞれの夜の時間を楽しんで！でも、あまりに明るすぎたり、大きな音や声を出さないように。

直火は
NGです



熱い炭に水を
かけると
危険だよ



会場内は直火禁止なので、焚き火台の下には受け皿のご準備を。また、熱々の炭に水をいきなりかけると危険なので、できれば「火消し壺」を持参するといいですよ。

カートは
丈夫なものを使う



NACの会場はゴルフ場。通路は整備されているが、アップダウンが激しいうえ、芝生の上を通ろうと思うとなかなかハード。荷物を運ぶカートはタイヤが丈夫なものを使う。タイヤが外れて立ち往生……なんて姿、時々見かけますよ。



TIPS FOR CAMPING

NACの大きな楽しみのひとつは、テントで寝泊まりすること。
NACMANが会場を巡って出会った素敵なキャンパーに
キャンプを楽しむため工夫していることをみせてもらいましたよ。

Text by Tomoko Yanagisawa Photo by sumi☆photo

風に飛ばされないよう、
しっかりベグダウンを



「年に数回しかテントを張らない」という方は、ご注意を！ポールが折れていた、パーツが足りない……などないように。風が強い場合があるので、ベグはしっかり地中に固定してテントやタープが飛ばないようにね。自分のテントの場所も忘れないように！

ポール、
折れたりしてませんか？



自分の
サイトナンバーを
忘れないように



NEW CAMP STYLE



スウェーデン軍御用達、質実剛健ブランド「ヒルパーク」。前室があって、邪魔な荷物がおいておけるメリットが。

ひとりで参加しているジリさんのテントは、「MSR」。キャンプに興味を持ったばかりで、借り物だそう。



2 3家族合同サイトはダイニングは大きく、テントはコンパクトに

「スノーピーク」の白い大きなタープに、ポール、イス、クーラーボックス、そして父のジャケット、と赤をポイントにきかせたおしゃれサイトが目をついた群馬県から来たという3家族。大人数&子どもと一緒に楽しむコツは、車に入れるサイトを予約して搬入、搬出を楽に。つい敷地を拡張しがちだけど、そこは周囲に配慮してタープは大きいけれど、寝るだけのテントはできるだけ小さいものに。ゆずりあいの精神、素晴らしい！



モリ家（父、母、兄、妹）、ピース家（父、母、姉、弟）、モリ家父の仕事の後輩であるジリさんと3家族で参加。

スモーカーで、つまみをいぶす！



カマンベールチーズ、ホタテ、サラダチキンなどをスモーク。のんびりフェスだからこそ、おいしいつまみ。



右/ガス式のコンロが内蔵された「スノーピーク」のテーブルで、囲炉裏気分。左/赤いイスは「カーミットチェア」。迷彩柄のベンチは「キャプテンスタック」。ポールにつり下げられたツールケースは「LAND&B.C.」のもの。

頭にお花をつけたいくちゃんさんから時計まわりに、あずかさん、ペーさん、とんさん。八王子から来たという職場の仲間4人組。NACは、4回目の参加。

化粧ポーチをスパイス入れに



基本調味料のほか、刻みパクチー、オイスターソース、シナモン、ごま油が重宝。

料理は「コールマン」のガス式ツーバーナーで。クーラーボックスは、5Lの「イグルー」(左)。調理道具入れには「無印良品」のケースを。



1 キャンプ好き ツワモノ女子4人の快適サイト

大雨にふられた2017年。悪天候をものともせず、タープの下で快適そうに宴会をしていた4人。メニューは、ビールで乾杯、アヒージョで野菜をたっぶり食べ、ガバオでめる。フェス会場では、できるだけ排水や油は流さないのがマナーのため、アヒージョのオイルはしっかりバゲットに吸わせて食べるとか。テントは「ノルディスク」。とんさんの私物で、雨風が強いとテントの快適性が問われるけれど、これなら4人ごろごろしても広々。



折り畳みテーブル、イスを入れるためのバッグは、丈夫な帆布を使って自作。テント、タープと合わせて、色は白に。



ゴム製のバッグ。食器を水道まで運んだり、泥だらけのウェアを持ち帰るのに便利。



NEW CAMP STYLE



ナシ用箱を
テーブルに



調味料を入れているのは、「NATURE WORKS×tent-Mark」のワーカーズオカモチ。レモン果汁、クレイジーソルトがあるとつまみはなんとかなる! そう。ガスコンロは、「CUBE」。

5 梨の収穫箱は、荷物入れにもテーブルにも

ギター片手に盛り上がるメンズ4人組。聞けば、栃木から来てくれた音楽好きの集まり。道具は各自あるものを適当に持ち寄り、というスタイル。よっちゃんが務めるナシ園から持って来たという収穫用箱は、荷物を入れるもよし、テーブルの台にするもよし(笑)。周囲の来場客と仲良くなるため、コーヒーを淹れて無料配布する予定とか。



長髪のよっちゃん(梨園勤務)から時計まわりに、ナオキさん(会社員)、カズアキさん(会社員)、イサミさん(学生)の音楽仲間。

カラビナ&ロープで
なんでも吊るす



6 タイダイのフラッグで テントをデコレーション

「スノーピーク」のテントとタープ、タイダイのフラッグとカッコよさで目立っていた須藤さん家族のサイト。ふたりの娘さんは12歳と8歳と体も大きくなってきたため、テントは大人5人でも広々眠れるアメニティドームM。タープに、カラビナ&ロープを吊って、紛失しがちなマグカップや乾かしたいサンダルをかける技も、見習いたい。



高崎市から来た須藤さん家族。一家でキャンプやフェスを楽しむ。お目当てのアーティストは、エゴラッピンとけっさくん。



「フェスでは料理はしません!」と調理道具は最低限。ジェットボイルとまな板、ナイフくらい。



手前が村田夫妻、奥が中村夫妻。夫同士が仕事仲間(大工さん!)という4人。大きな道具は共有しているという、仲良しぶり。

テント イン テントで
雨でも快適!



雨天の浸水予防のため、大きなタープの下にテントをすっぽり入れて張る技。



3 大きなタープの下にテントも コットも張ってしまう

炭のグリルを囲んで「スノーピーク」のジカロテーブルを配置。そこに「ラジオフライヤー」のワゴンに板を乗せた簡易テーブルをつなげるという、より食卓を広く使う技。高さをそろえるのがポイントとか。「NAC×コールマン」のオリジナルのイスと、インフレーターマットとブランケットを敷いたコットで、リラックスできるダイニングに。



火消し壺も



水をかけると水蒸気が“じわー!”とあがって危険、芝生への悪影響があるため、火消し壺を準備したい。「ロゴス」の火消し壺を愛用とか。

4 かわいい♡とミリタリーの ちょうどいいバランス

「ノルディスク」の三角屋根テントに、手作りしたという緑と白の毛糸のタッセルガーランド。めいさんが着ている服は、古着だというレトロなワンピース。このサイトが目引いたのはクーラーボックスやイスがカーキ、迷彩柄など男前なテイストであること。かわいいだけじゃない、このバランス、マネしたい!!



タッセルをガーランドに。自分らしいテントサイトになるよう工夫するのも、NACらしい風景。



コンパクトさ、座り心地のよさで大人気の「ヘリノックス」のイス。カラーリング豊富だけど、迷彩柄、カーキをセレクトして渋めに。クーラーボックスも、「YETI」のカーキ。「コールマン」のランタンもグリーンで、全体的に緑をテーマにスタイリングした。

NEW CAMP STYLE



「カメラオブスキュラ」のワークショップ、やってます

朝夕には、フリースがあれば安心



ふわふわ起毛が気持ちいいフリースは、かわいい＆あたたかい、持って行くべきアイテム。重ね着しやすいベストタイプもあり。

フェスフォトグラファーでおなじみの宇宙大使☆スターさん。帽子がわりにターバンを。

ショートパンツ+カラフルタイツ!



チェックシャツ+白スカートの3つ子コーデ



看護師の同僚である3人は「去年も来たよ!」というNAC好き。お揃いコーデで気分もさらに上がる!

日が落ちて来たらハットからニットキャップに



暗くなって来たら、ニットキャップのほうが、暖かさや視野の確保がしやすい。



足下は「野鳥の会」のバックル長靴で万全に

雨が降ると田んぼ状態になる場所もあるため、長靴は必携。おすすめは、「野鳥の会」のバックル長靴!

バッグとピアスのタッセルがポイントです



安くてかわいい、という「coen」のワンピース(薄いからすぐ乾く!)に、「メレル」の靴、バッグは「GREGORY」。

TIPS FOR WEARING

晴れたらTシャツ+フリースくらいでもいいけれど、曇天の場合や夕方から夜はぐっと冷え込むのが、9月のみなかみ。ころころ変わる天気には振り回されないよう、雨天の準備もしっかりして、ニューアコースティックキャンプらしい、おしゃれを楽しもう!

青と赤をそれぞれのテーマカラーに



朝や夕方など少し肌寒い時間帯は、Tシャツに少し厚めの布地のシャツがちょうどいい。キャップとシャツ、靴下をそれぞれ青と赤に。

ザックとショルダーバッグは基本2個持ち



着替えは大きめザックに、お財布、携帯、レインウェア、日焼け止めなど化粧品はショルダーに。

ACIDMAN 大木伸夫に聞く！ ニューアコースティックキャンプの 魅力と楽しみ方

NAC初期と今の両方を知る男、ACIDMAN大木伸夫。バンドシーンでは数少ない
キャンプ好きとしても知られる彼が思うNACの魅力と楽しみ方とは。

Text by Daishi "Dai" Ato Photo by Jun...



●大木伸夫さん

“生命”をテーマにした壮大な詩世界、
様々なジャンルの音楽を取り込み、“静”
と“動”を行き来する幅広いサウンドで3
ピースの可能性を広げ続けるロックバン
ドACIDMANのギターボーカル。

— 去年のNACではMONKEYSの
細美武士さんからライブ中に酒を
飲まされるという、なかなか普段
のライブではないようなハプニン
グがありました。

ACIDMANを結成して今年で21
年目、プロとしてやらせてもらう
ようになって16年目なんですけ
ど、ライブの日にお酒を飲んだの
はあれが初めてです（笑）。細美
くんだからこそ僕は受け入れられ
たし、細美くんじゃなかったら絶
対飲まなかったでしょうね。でも
酔ったら気持ちよくなるかなと
思ったけど、案の定、何をやって
いるかわからなくなりました。二
度と飲んで歌ったらダメだってい

うことがわかったので、いい経験
になりました（笑）。

— こちらからは、いいパフォー
マンスに見えましたけどね。

いつもは「このエフェクターを
踏もう」とか冷静に判断している
んですけど、酔うとそれがどうで
もよくなってきたら。僕みたく
いにガチガチでしつかりやりた
いっていう人間にとってお酒はよ
くないけど、もし（今年の）9月
までに僕が成長していたら、自ら
飲んでステージに出ます。

— 誰かから飲まされる前に、「最
初から飲んで出るつもりだったけ
ど、何か？」ぐらいの勢いで（笑）。
そうそうそう（笑）！

— ACIDMANは2010年の初年度
と、そこから6年経った2016
年から毎年NACのステージに
立っています。初回から比べてみ
て、イベントの雰囲気は変わった
と思いますか？

全然変わりましたね。個人的な
話になるんですけど、初回の頃は
まだ僕はキャンプをやってなかつ
たんですよ。学生時代にもやって
はいたんですけど、自分が大人に
なって家族を持って、仲間たちと
テントを張るようになったのが4
年前ぐらいで。それまでNACに
対してはひとつのイベントとして
楽しくていいなあと思っていたん
ですけど、自分がキャンプをやり

だしてからNACに出たい欲が強
くなってきて。

— NAC自体の雰囲気も変わった
けど、その前に大木さん自身のメ
ンタルが変わったと。

だから今ではTOSHILOWさん
に会うたびに「NACに呼んでく
れ！」ってお願いしています。こ
れまでの4年間で僕は全国各地で
キャンプしてきましたけど、あんな
場所までテントを張れるなんてな
かなかできない体験だと思うん
ですよ。キャンパーからしたら相当
ぜいたく。本当に素晴らしい場所
を見つけたなと思います。

— イベント自体はいかがですか？
そこに座ってるだけでキャンプ

をしている気分になれるのがいい
ですね。のんびりくつろいでいる
なか音楽が流れていて、ちょっと
歩けばおいしいご飯がたくさん
あって。新しい形に見えるけど、
実はフェスって元々こういうもの
だったのかなって。フジロックの
雰囲気がよくよく日本人に合っ
てきたというか。

— なるほど。
NACのメインは自然を楽しむ
ことで、音楽はあくまでもその隣
にあるっていう感じだと思うんで

すよね。ライブが終わったあとの
フォークダンスもすごくいいし、
普通のフェスじゃ、あんなこと絶
対できないじゃないですか。オリ
ジナリティのあるフェスになって
いると思います。

— ちなみに、大木さんのお気に入り
のキャンプ場はどこですか？
ウェルキャンプ西丹沢です。6
月中旬ぐらいに行くと蛍が溢れか
えってるんですよ。あれはすごい
ですよ！

— キャンプに行くようになった
きっかけは？
自然と触れ合うのが子どもの頃
から大好きで、BBQから始まり、
バンガローに泊まったり。でもよ
り本格的に、焚き火をしたり、ター
プを立てて鳥の丸焼きを作った
りっていうのはここ最近ですね。
料理して、お酒飲んで、ヒドいと
きには深夜3時ぐらいまでちっ
ちやい声でしゃべりながら飲んだ
り。で、朝はホットサンド作って。

— みなさんで行くんですか？
ACIDMANの一悟くんの家族と

マネージャーと、あとは友達とか。
一番多いときで30人ぐらいいたか
な（笑）。

— 道具もこだわってるんですか？
大好きです。もうギアが大好き
で。テントは「ノルディスク」の
ワンポール。あとはハンモックも
あるし、「ウェーバー」のどっか
いグリルも持っています。

— 今一番欲しいものは？
腰が痛くなるので、今年はコッ
トを買ってみようかなと。キャン
プのギアは多いですよ。雑誌見
ちゃうと物欲が止まらなくて。

— 凝り性なんですか？
凝り性です。色合いとか全部
まとめたくなっちゃって。テント
を立てて、中にはラグをいっぱい
敷いて、外にはカーミットチェア
を置いて。ギアはキャンプを始め
た頃にいいものを買って、よくない
ものは使わなくなっていくだけ
で、いいものはずっと使いたい
と思っています。

— では、最後にNACへ初めて来
るお客さんに向けてアドバイス



ACIDMAN 最新情報

昨年バンド結成20周年を迎え、11月に初主催フェスをさいたまスーパーアリーナで開催。12月にはアルバム『A（ラムダ）』をリリースし、現在はレコ発ツアーの真っ最中。7月13日に日本武道館にてファイナルを迎える。



左) リハロウスタッフ大集合。おしゃべり好きのフレンドリーなスタッフが皆様をお迎えいたします。 右) 沖縄県石垣島にあるリハロウ。なんと! 海まで5秒! 島野菜をふんだんに使った料理が人気。朝8時のモーニングタイムから営業中。

僕らもキャンプしてNACを思いっきり楽しんでいます。ぜひぜひニンバスに遊びに来て下さい! 頑張って登ってきただけの価値は絶対ありますよ〜。山奥にある南国ニンバスで、スタッフ一同お待ちしております!

●海老沼純一さん

沖縄県石垣島にある、島野菜カフェ:HELLO BEACH (リハロウビーチ) のシェフ。10年前に東京から移住し店をオープン。



ニンバスを知らずして ニューアコを語るべからず...

ニューアコの最高所エリアであり天国に一番近い場所、ニンバス。登らないととどろき着けない、知られざるゾーンをご紹介します。

Text by Naomi Sudo Photo by sumi☆photo, Taku Fujii

熱

心なNACファンのみならず、もしかしたら気付いているかもしれない。開催の当日は、SNSを通じてステージ写真や随時公開しているのだが、ニンバスステージだけは一度も写真がアップされたことがない。答えはただひとつ、遠いからである。

じつは各ステージの写真は「飛脚」たちによって運ばれている。ステージが終了すると、カメラマンから写真の入ったメディアを預かり、パソコンで投稿作業するスタッフの元へダッシュ。福男選びながらに飛び込んでくる、というわけだ。ただ、ニンバスだけは高低差と距離に阻まれて、「もうドローンで運ぶしかないねー?」と、諦めているのが現状。そんな天国に一番近い場所、ニンバス。遠さゆえ、長い坂道ゆえ、まだ一度も行ったことがない人も多いことだろう。でもよく考えてみて欲しい。駅から遠い店、場所が分かりにくい店ほど、個性豊かで旨かったりするものだ。今回は知られざるニンバスについて、存分に紹介したいと思う。

ニンバスエリアが誕生したのは3年前の2015年。2016年からは、島野菜カフェ:HELLO BEACH (以下、リハロウ) がお店し、通常の飲食店という枠組みに留まらない創意工夫でこのエリアを盛り上げてくれている。リハロウの本拠地は、石垣島のビーチカフェで、シェフの海老沼純一さんが10年前に移住してオープンした店だ。2014年にオーガナイザーのOVERGROUND ACOUSTIC UNDERGROUNDが3rdアルバム『FOLLOW THE DREAM』をリリースした際に全国ツアーを行った。そのツアー初日、スタートの地が石垣島のリハロウだった。そんな縁もあり、NACの天空の丘にはオリオンビールやソーキソバといった沖縄色が溢れている。



通常の店では装飾することもできないし、お店を出すだけではどうも物足りないと感じていました。もっとなにかいろいろやりたいて、相談したんです。そうしたら、ニンバスっていうエリアがあるけどやってみるか、とお話をいただいて。ただし、辺境だぞ! と(笑)。

と、ニンバス出店のきっかけを振り返る海老沼さん。オーガナイザーも素直に認める「辺境の地」。「辺境なんて、どんなところなんだと思っていました。実際見たら、これはいろいろできそうと思いました。規模感も最高で」と、実際に現場を見た時は逆に発想が膨らんだそうです。そして、ニンバスといえばこの人を忘れてはいけません。いまや「ニンバスの主」との異名をとるLOWOONさんだ。初年度の2015年から毎年出演し、一昨年と昨年はトリを務めている。オーガナイザー自身、この辺境エリアに人が集まるのか、かなり不安があり、やってみなければ分からないとい



インスタ対応エリアです



オリオン、冷えています



これがステージ!



プロに聞く！ 2018年最新のキャンプ事情

いよいよアウトドアシーズンが到来。数多あるアウトドアアクティビティのなかでも高い人気を集めているのがキャンプ。最新事情をプロに聞いてみた。

Text by Naomi Sudo Photo by JON... sumi photo Takeshi Yao



● 島名宣行さん
のふゆき

コールマン ジャパン勤務。山梨で行われた1回目はもちろん、構想段階だった頃から知る。長年にわたりキャンパーをサポートしてくれているニューアコの守り人的存在。

あつという間に桜が散り、木々は物凄い勢いで緑萌えしている。暑すぎず寒すぎず、キャンプには気持ちいい季節だ。これから始めてみたいという人もいるだろう。そこでアウトドアのプロ、コールマン ジャパンの島名宣行さんに最近のキャンプ事情と楽しむヒントをうかがった。

— キャンプシーズン到来です。最近、みなさんどんな風にキャンプを楽しまれているのでしょうか。 —

とてもバリエーション豊かになってきたと思います。単にキャンプ用品を揃えるだけでなくおしゃれな雑貨などを上手く取り入れて、みなさん楽しんでいる。あ

とはしっかり物選びをして、いい物を使いたいというニーズがあるように思います。実際キャンプ人口も伸びていて、今年は6月に開催する神宮外苑の都市型キャンプイベントには、毎年これから始めたいという方々がたくさんいらつしゃいます。キャンプ参加人口は約830万人で、ここ数年継続して伸びており、現在も伸び続けているかと思っています。

— そんなキャンプ人気、なにかキッカケなどあったのでしょうか。 —

やはりSNSの影響が大きいと思います。キャンプのスタイルを発信するという新たな動きですね。料理やキャンプサイトなど

魅力的な写真が手軽に見られるので、参考にもなるし、やってみたいくなる。みなさん、オリジナリティ溢れるキャンプサイトです。また最近はファッションや雑貨にしても、アウトドアテイストのものが増えている気がします。普段の生活のなかにもアウトドアが入ってきて、より身近になってきたということかもしれませんね。

— みなさん、どんな理由でキャンプを始めるのでしょうか。 —

ニューアコのようなキャンピングベントや各地のフェスが入口となつて、それがきっかけでキャンプを始める方は増えていると思います。お子さんのいるファミリー

は、やはり子どものためにキャンプをしたい、と考えている方が多いようです。「キャンプは子どもにいい」という実証データもあつて、幼いときから自然に触れあう機会があると、感受性が豊かになったり、自分から行動できるようになることがあるようです。でも、自然に触れることで感じるものって決して子どもだけに限りません。私自身もそういう経験があります。前職で多忙を極めていたときに仲間と行った河原でのバーベキューが心地よくて…。息抜きになった思い出があります。もともと野外で遊ぶことは好きなのでしたが、アウトドアとはまったく

く関係のない会社にいましたので、ひととき強く感じましたね。今では私も家族とキャンプによく行きますが、宿に泊まるような旅行よりもキャンプしたときのほうが、子どもたちには強い印象として残っているようです。次はいつ行くの？なんて、話したりします。

— 自然のなかで遊んだ思い出って大きいんですね。 —

あと、みなさんによくオススメするんですが、お子さんに「火の番」をやらせるといいです。手を近づければ熱いと感じるし、どこまで近づいていいものなのかと肌で分かるようになります。自分で火を扱えるようになった！という自信もつきます。私はキャンプでは子どもたちに料理もやらせるんですが、案の定、包丁で手を切つてショボンとしてしまうこともあ

ります。でも、まあそれもいい経験と思っています。なにこともやってみて、肌で感じるということとはとても大切ですね。

— これからキャンプを始めたい！アウトドアしたい！という方にアドバイスをお願いします。 —

キャンプは宿泊をとまなうので、少しハードルが高いと感じるかもしれませんが。手始めに例えば手軽なバーベキューとかハイキン

グとか、外に出て自然を楽しむなかをしてみるのがいいと思います。お散歩でも十分。外でご飯を食べれば、家の中よりはるかに気持ちがいいはずですよ。これ（道具）がないとできない、など堅苦しく考えすぎず！あとは、つながりができると出かけやすいかもしれません。家族や仲間でも、一緒に楽しめるコミュニティができる、といいですね。



キャンプが、社会を豊かにする。
コールマンは、本気でそう信じている。

どことなく満たされない今、
キャンプは、人と人を強くつなげるから。

家族や仲間との距離がぐっと縮まり、
忘れていた感情や感覚がどっと溢れる。
そして、人と人の隙間に温かな火が灯る。

コールマンは、そんな人の間を
照らす灯火でありたい。

灯そう、目に見えない絆を。
灯そう、失いかけた感性を。
灯そう、忘れがちな遊び心を。

灯そう、ほの暗い日本を。

灯そう。



The Outdoor Company™

ブランドムービーはこちら
www.coleman.co.jp



ライターという仕事をしてい
ると、古い資料や昔の本を開く
ことがよくあります。先日、昭
和30年代に発行された山岳専門
誌を見ていたら興味深いことが
書いてありました。特集は、「幕
営と装備」。どういう場所が野
営地向いているか、何を着て
いくか、テントの種類などとい
ゆるノウハウが項目ごとに説明
されています。まだキャンプと
いう言葉が浸透していないう
く、「幕営」というと少々難しく
も感じるが、キャンピングとい
えば楽しさも加わる…」など時
代を感じます。

目が止まったのは「焚き火」
というページ。現在では登山の
ときに山中で薪を燃やすような
ことはしませんが、昔は炊事や
暖をとるために火を炊き囲んで
いたようです。焚き火の手順が
書かれた最後に、「夜の楽しみ
といえば、火を囲んでみんな
で合唱することだが、周りに配慮
すること…」との記述。

そういえば数年前、山小屋に
泊まった際に見知らぬ「大先輩
の登山グループ」と同宿だった
ことがありました。その日は、
わたしたちとそのグループ2組
のみ。夜には一緒にお酒を飲み
ました。ほどよく酔いが回り始
めたころ、「どうぞ」と言って

小さく畳まれたコピー用紙のよ
うなものを手渡されました。広
げてみると、なんと歌集！童謡
から演歌、歌謡曲まで、いろい
ろな歌詞が書いてあるのです
（しかも手書き！）。そして誰か
らともなく歌い始めました。古
い歌は分かりませんでした。古
い曲かはみんなで合唱しまし
た。合唱なんて中学生以来。と
ても楽しかったことを覚えてい
ます。かつての山岳会（山登り
のサークル）では、流行りの歌
などで替え歌を作って、辛かつ
た登山のことや無礼講で先輩の
ことをユーモアたっぷりによく
歌ったのだとか。

昔からみんな山と音で遊んで
いたんですね。いまでは山で歌
う人の姿はほとんど見かけませ
ん。もちろん歌ってもしないの
ですが、やはり焚き火がないの
で、雰囲気がいまひとつだから
でしょうか。山と音楽はとても
よく似合います。NACだった
ら、焚き火を家族や仲間と囲む
ということができません。夜な夜
なみんなで合唱！そんなちよつ
と昔の楽しみ方、してみるの
はいかがでしょう。もししたら、
歌い足りない山の鬼いさん（あ
るいはNAC夜間警備員）が歌
声に誘われてその輪に加わるか
もしれませんよ。

「COLUMN」

ちょっと昔の山と音の遊び方

Text&Photo by Naomi Sudo
illustration by Megumi Yamamoto



● 須藤ナオミ

山、川、海、水陸両用のフリーランスライター。ガイド業、アウトドアブランドの広報などを経てフリーに。
著書に『アウトドアで働く』（ベリカン社）がある。



JASPER

ジャスパー

クライミングシューズのデザインとコンフォートシューズをハイブリッドした、
KEENを代表するロングセラーのアウトドアスニーカー。
フェスやアウトドアシーンで大活躍。

KEEN JAPAN TEL : 03-6416-4808 | KEENFOOTWEAR.COM
INSTAGRAM @keen_japan